

Do!

2024.WINTER
1月号
VOL.483

DOKKYO
UNIVERSITY
60th
Anniversary
since 1964

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02_03_獨協大学60周年記念鼎談

04_雄飛祭レポート

05_未来への羅針盤

10_ダイバーシティ推進連絡会アンケート

獨協大学60周年記念鼎談 伝統の継承と新たな価値創造への契機

獨協大学は今年創立60周年。「還暦」という節目を迎えるにあたり、「これまで積み重ねてきた伝統を継承しつつ、新たな価値を生む契機とし、獨協ブランドの再構築を目指します」という目標を掲げています。そこで、獨協大学の「伝統」と、これからの歩みについて、学長・副学長にお話を伺います。



児嶋 一男 副学長

中央大学大学院博士後期課程文学研究科英文学専攻満期退学。83年獨協大学外国語学部専任講師、88年外国語学部助教授、96年外国語学部教授。本学における役職歴は、04～08年学友会総務部長、09～11年学生部長兼敬和館長、15～19年入試部長。20年4月1日より副学長に就任。

山路 朝彦 学長

東京外国語大学大学院修士課程外国語学研究所ドイツ語専攻博士。86年獨協大学外国語学部専任講師、90年外国語学部助教授、01年外国語学部教授。本学における役職歴は、94～96年外国語学部教務主任、97～01年学長室委員、03～07年学生部長兼敬和館長、08～12年教務部長、12～19年副学長兼総合企画部長および獨協学園理事。20年4月1日より学長に就任。

岡垣 知子 副学長

ミシガン大学政治学部大学院修了。政治学博士。11年獨協大学法学部教授。本学における役職歴は、14～18年国際関係法学科長兼総合政策学科長。20年4月1日より副学長兼総合企画部長に就任。

●獨協大学の「伝統」とは

山路 獨協大学60周年記念事業の目標に、「積み重ねてきた伝統」という言葉があります。まずはこの節目に、改めてその「伝統」とは何なのかということについて考えていきたいと思えます。

岡垣 獨協大学の伝統を語るうえで、まず前身である、明治時代の獨逸学協会学校のころから受け継いできた教育精神を忘れてはならないと思えます。

山路 そうですね。世界から先進的な学問を学び、取り入れることで日本を前進させようと努める、現代にも通じる精神がありました。

岡垣 はい。獨逸学協会学校は、日本の近代化に多大な貢献をした哲学者・啓蒙思想家の西周*が創設者の一人であり、現在の司法試験に当たる「判事検事登用試験」の受験資格を与えられた9つの学校のひとつでもあります。現在の獨協大学が持つ先進性の礎ともなった、誇るべき歴史、伝統だと思います。

山路 法学や語学といった「実学」と先進性を重んじる精神、それらを受け継ぎ、「学問を通しての人間の形成」という教養の理念を組み合わせ、獨協大学を創設されたのが、天野貞祐先生だといえます。また、大学は学問を教授する場であると同時に、教える者と学ぶ者が一体となって「人間形成」という営為を行う「教育共同体」であるとも構想なさいました。

児嶋 その精神は、かつてのキャンパスの造り

界の敷居を一つ越えた時に、視界がいきなり拓けるような醍醐味を一度は在学中に味わってほしいと思えます。



山路 「人と自然と建物が調和する」この緑豊かな大学の4年間で、何かに粘り強く取り組む経験をしてほしいですね。学問に限らず、熱心に取り組めばどこかで「成長した」という実感が得られるはず。スポーツでも、振り返ってみれば学びと成長が実感できるでしょう。それは達成の喜びにも、自信にもなるはず。そういった経験は、社会に出てからの皆さんを支えてくれる財産になるはず。



線の指示などにきちんと対応していただき、学内での感染対策のルールも守っていただきました。

●獨協大学の「これから」

児嶋 コロナ禍で社会が大きく変わって技術も進歩し、よりグローバルで、多様性にあふれる世の中になったと感じます。しかしその一方で、語学の今後に関していうと、今までのような語学は不要になるだろうと思っています。旅行での日常会話などは機械が翻訳してくれますから、「情報を伝達する」だけの外国語を教える意味は薄くなるでしょうね。

岡垣 語学は人の視野を大きく広げてくれますが、語学ができて当たり前前の時代にもなっています。また語学はツールですから、外国語を使って何をしたいのか、しっかりと目標を持つことも大事だと思います。

児嶋 同感です。これから求められるのは、言語の間、行間を読む能力でしょう。異なる文化圏の人びとと交流するためには、言葉の間で交わされるコミュニケーションを読み取る能力を、いかに育てていくかが課題になると

にも表れていました。建て替え前は先生方の研究室がみんな一階にあって学生との距離が近く、より密接に関われる環境でした。加えて学生が素直なも昔からの特徴で、教員と学生とが親しみを持って交流していました。その精神は今も生きる伝統です。

●任期を振り返って

山路 改めて任期の4年間で振り返ると、どうしてもコロナ禍との戦いの印象が一番強く残ってしまっていますね。誰もいないキャンパスの光景というのは実に寂しいものでした。

児嶋 そうですね。学校に来て誰もいない、ゴーストタウンのような状況でしたから…。ようやく規制が緩和されて、学生が賑やかに話している声を聞くと、やはり大学はこうでなくてはと実感します。

山路 学校としての対応も本当に大変でした。大学に学生が入ることもできない中、それでも授業は続けなければならず…。先生方は本当に頑張ってくださいました。

岡垣 コロナ禍の初期は何度も会議を重ねて遠隔授業の準備を急ぎ、先生方のご理解を得て、早期に実施できるようになりました。

児嶋 それは先生方や職員の方々の協力体制が組めたおかげです。かなりこまめに連絡を取り合い、顔を突き合わせて会議をしていました。その間に、誰も感染しなかったのは幸いですね。

山路 学生たちも在宅授業でよく耐えてくれました。規制が明けて学校に戻ってからも、コンピュータによる入構チェックや動

*西周(1829~1897年)現在の島根県津和野町出身。江戸時代末期にオランダで法学を学び、明治維新後はその内容を翻訳、整理した『万国公法』を出版した。また、「哲学」や「芸術」など、西洋からの概念を翻訳し、数多くの漢語を考案している。

※本文内敬称略

第59回 雄飛祭

With All My Heart

第59回雄飛祭が11月4日(土)～5日(日)に開催された。

テーマにふさわしい展示・パフォーマンスが行われた2日間となった。

開祭式



雄飛ホールにて行われた開祭式では、岡垣知子副学長の開祭の挨拶に引き続いて、書道研究会による書道パフォーマンスが披露された。一つ目の作品では迫力のある「雄飛祭」の文字が書かれ、二つ目の作品では今年の雄飛祭のテーマである「愛」を謳った曲と詩で観客に感動を与えた。最後に、雄飛祭実行会松本進之介委員長の開祭宣言をもって雄飛祭がスタートした。

DUコンテスト



アリーナで行われたDUコンテストは、ファイナリスト4名の登場からスタートした。その後、自己紹介とコンテストへの意気込み、ファッションショー、特技披露が行われた。ファッションショーでは、一着目にドレスブランド「ドリードル」の衣装を、次に被服サークル「DNS」の衣装を着用した。審査の結果、グランプリには **さん(営3年)**、準グランプリには **さん(関2年)** が選ばれた。コンテストに挑戦することで、ファイナリストたちの美しさや輝きがさらに高まったように感じられた。

管弦楽部



管弦楽部が教室でミニコンサートを開催した。およそ20分間の演奏では、アラジンや美女と野獣など、今年で創立100周年を迎えるディズニーの曲を中心に、クラシックやJ-POPの名曲を披露した。指揮者の合図に合わせた迫力のある演奏に、観客も見入っていた。中には、リズムに合わせて体を揺らす観客も見られ、教室全体が音楽を楽しんでいた。また、ハリーポッターの演奏では、指揮棒が魔法の杖になるなどの工夫がなされていた。

Singing Club



バンドステージで「Singing Club」の演奏が両日行われた。ポカールやコーラス以外にもトランペットやサクソフーンなどの管楽器を使い、多彩な音色を奏でた。ポカールの歌唱力や楽器ごとの幅広い表現で観客を魅了している姿が印象的だった。

編集後記

チアリーディング部



雄飛ホールにて、チアリーディング部がチアダンスを披露した。大人数であるにもかかわらず、息ピッタリの動きと華麗なダンスは観客を釘付けにした。パフォーマンスの随所でアクロバティックな大技が披露され、観客をハラハラドキドキさせたが、無事成功し大きな歓声があがった。

大久保賢斗(営2年)

コロナが収まってきたからか、今年の雄飛祭は去年に比べて店舗数も来場者も多く、とても賑わっていました。雄飛祭実行委員会の方を始め、たくさんの方々が頑張ってくれたから実施できていたことに、今回の取材で改めて気付かされました。

土田優衣(営2年)

今年の雄飛祭はコロナ禍も明け、多くの在学生と来場者で大変盛り上がっていました。大学の校舎内だけではなく、今年の春完成した獨協大学コミュニティスクエアでも催しものが行われ、今までよりもレベルアップした雄飛祭でした。また、様々な団体の発表や展示の取材撮影を通して、それぞれの団体の魅力や活動の成果を感じることができました。

柳澤真理子(営2年)

コロナ禍が明けたこともあり、今年の雄飛祭は昨年よりも多くの来場者で賑わっていました。ダンスサークルやバンドでは、観客が自由に声出しをする場面がみられ、盛り上がりを感じました。また、様々なクラブやサークル、ゼミの展示を通して、それぞれの団体の日々の活動の成果を感じることができました。

インタビュー



各業界でトップランナーとして活躍する先輩に、学生記者がインタビュー。今回は、株式会社ママスクエアの創業者として、お母さんたちが働きやすい世の中を実現しようと奮闘する、藤代聡さんにお話を伺いました。



大学を卒業してからのお仕事について教えてください。

獨協大学卒業後リクルートフォームエーに入社し、営業として10年、タウンワーク雑誌の立ち上げで5年間勤めた後に独立。2004年に、子ども向け大型遊具があるプレイルームを併設した親子カフェを開業しました。

当時は「カフェ+他事業」という業態自体少なく、名古屋のトランポリンカフェでお話を伺い、試行錯誤しながらの起業でした。その経験を経て14年に立ち上げたのが「キッズスペース付オフィス」という子連れで仕事ができる会社、ママスクエアです。

このお仕事を選んだきっかけについて教えてください。

世の中に「藤代聡という人間が生きていてよかった」と思われるような足跡を残したいと考えました。学生時代から、努力すれば成果が出て、根気よく取り組むことで多くの人を幸せにできるのは起業だと思っていたのです。その中で親子カフェを選んだのは、児童虐待や育児放棄といった悲しいニュースを見て、子育てでお母さんたちが抱えるストレスに気づいたから。母親と子どもに優しい世の中のために、一種の駆け込み寺としてこの業態を選びました。その後、親子カフェで多くの主婦の方たちを雇用していたのですが、その多くは真面目でポテンシャルも高い方々でした。また、面談で話を聞くと、スキルがあっても育児のために働けないという方が多かったのです。そこで、そんな方々が働ける場所を、現在のママスクエアへの転換を決意しました。

代表取締役として大切にしていることを教えてください。

まずは従業員を幸せにすることが私の責務です。「幸せにする」ために、全員に成長の実感ややりがいを提供したい。私にできるのは、常に挑戦のチャンスを提供し、迷っていればヒントを与えること。会社でどんな問題があっても「代表取締役」という立場にいる以上、私に逃げ場はありません。その覚悟を持って取り組めば、「これは絶対に無理だ」と誰もが諦めるような事態にも挑むことができます。自分のやり方に責任を持って真正面から向かっていく、そして諦めずに乗り越える。その覚悟で日々仕事に臨んでいます。

学生のときにやっていただいた方がいいことを教えてください。

この歳になると、人生で何にでもチャレンジできる期間は短いと実感します。社会人には責任があり、周囲の環境にも縛られてしまうもの。しかし学生のうちは、多くのことで失敗しても許されるし、リカバリーできます。そんな時期を無為に過ごしてしまうのはもったいないこと。何事にも果敢に挑戦してみてください。

そしてもう一つ、色々な人、特に先輩の話聞きに行ってください。獨協大学の卒業生なら、忙しくとも後輩の社会勉強のために時間は惜しみません。就職して会社の色が以前の「無色」な後輩を応援したいと思ってくれます。これは学生の特権ですから、活かさない手はありません。勇気を出して一歩踏み出せば、新しい何かが見つかります。

メッセージ 学生の皆さんへ

- ① チャレンジを恐れない。成功するかかわらないことも、学生にはやり直しの機会がある。その期間を活用しよう。
- ② 先輩に話を聞きに行こう。社会人になる前の「無色」の学生だからこそ、会って話してくれる先輩は多い。

学生記者

田中 風羽(英2年)

「いい人生だった」と思いながら息を引き取りたい、そのための足跡を残したいという考えがとても素敵だと思いました。選択の中でより難しい方へチャレンジを重ねることの大切さや事業への一貫した姿勢を学べて良かったです。

高橋 来未(関1年)

「学生の特権」という言葉がとても印象に残り、自分も学生のうちに様々な方のお話を聞きに行こうと思いました。取材をしていく中で、代表取締役としての軸が感じ取れて、刺激を受ける良い機会になりました。

創立60周年記念 つなぐプロジェクト 並木選手×前田通訳 OB対談 「好きを仕事に～プロ野球界で働くということ～」

12月19日、東京ヤクルトスワローズ 並木秀尊選手(21年済卒)が本学を訪れ、山路朝彦学長への表敬訪問の後、天野貞祐記念館大講堂にて、読売ジャイアンツ通訳 前田悠也氏(22年英卒)と対談を行った。司会は日本テレビアナウンサー 蛭原哲氏(97年律卒)が担当。約200名の来場があり、観客に仕事観や今後の展望について語った。本イベントは地域の方にも開放し、トークイベントの最後にはプレゼント抽選会やフォトセッションが行われた。



第11回経済学部 プレゼンテーション・コンテスト 開催報告



11月15日、第11回経済学部プレゼンテーション・コンテストが、天野貞祐記念館大講堂において開催された。10件の応募があり書類審査を通過した8グループがプレゼンテーションを行った。厳正な審査の結果、最優秀賞には山森哲雄(済)ゼミ・チーム盆栽の「臓器提供の意思表示率向上のための方策～意思表示欄に着目して考える～」が選出された。本選での各グループのプレゼンテーションは、日頃の活発な調査・研究活動の様子が窺えるものばかりだった。

意思表示欄に着目して考える～」が選出された。本選での各グループのプレゼンテーションは、日頃の活発な調査・研究活動の様子が窺えるものばかりだった。

気象予報士試験講座の受講生募集

気象予報士試験の短期合格を目指す講座をリーズナブルな価格で受講できます。NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」で気象考証を担当した齊田気象予報士が、100人以上の気象予報士試験合格者を輩出した「てんこロ。」を主催する佐々木気象予報士とタッグを組んで講座を担当します。基礎から始まりますので、初めて天気や気象の勉強をする人でも安心して受講できます。学内での講義と、web動画のオンデマンド配信があり便利です。2024年4月のガイダンスに是非参加してください。 お問い合わせ先:経済学部長室 048-946-1929

長期留学終了者による 留学成果報告会を開催

10月23日～27日、国際交流センター主催で長期留学終了者による留学成果報告会が開催された。留学成果を可視化することで、留学生本人には、次のステップに向けての新たな気づきを得る機会として、また留学を考えている学生には、海外体験について考えるきっかけを提供する場として、本報告会は実施された。

長期留学終了者は、留学終了後の事後研修を通してまとめた留学成果に加え、自身の能力の伸長や課題、今後の学修計画などを発表し、多くの学生にとって今後の可能性を広げる貴重な機会となった。



国立高雄科技大学との 学術交流協定締結

本学は10月11日付で、国立高雄科技大学と学術交流協定を締結し、本学の台湾における協定校は3校目となった。

国立高雄科技大学は、国立高雄応用科技大学、国立高雄第一科技大学、国立高雄海洋科技大学が合併して2018年に設立された、台湾高雄市に本部を置く台湾最大規模の国立科技大学である。合併した3大学の長をを活かした多様な専門課程を有し、学生のニーズに合わせた質の高い教育を提供している。学部の1つである外語学院にはドイツ語学科も設置されており、今後の活発な交流が期待される。

学生の交換留学募集は、2024年度秋学期派遣から予定。



読書人カレッジ2023を開催

11月15日に読書人カレッジ2023を開催した。今回は、東京大学名誉教授/東大EMP講師の小林康夫氏を講師にお迎えし、「本、国境を超えるために」というテーマで、ご講演いただいた。

小林氏はまず、自分の宝物となるような「価値」に出会うことの重要性について説明。そして、その手助けの一つとなるのが本であり、若いうちに読書を通して生まれる自分だけの「感覚」こそが、これからの人生において大きな財産になるとお話しになった。

参加した100名余りの学生と教職員は、講演に熱心に耳を傾け、質疑応答も活発に行われた。



草加市・獨協大学基本協定 変更協定書締結式を開催

11月8日、獨協大学コミュニティスクエアにおいて、「草加市・獨協大学基本協定変更協定書締結式」が行われた。草加市と本学は、昭和45年の大学公開講座を端緒として連携事業が始まり、平成19年には「草加市・獨協大学協働宣言」及び「草加市・獨協大学基本協定書」の調印を行うことで、豊かなまちづくりに向けて、様々な分野での連携が図られてきた。長年の歴史の中で培われてきた相互の連携関係を生かし、世界共通の持続可能な開発目標であるSDGsの達成について、更に連携を深めていくことを目的として「基本協定」の変更協定書の締結を行った。



次期学長予定者に前沢浩子教授 今月の理事会で正式決定

山路朝彦学長の任期満了に伴う学長予定者選挙が12月13日に行われ、前沢浩子教授が学長予定者に選出された。同日行われた全学教授会では、前沢教授を次期学長として理事会に推薦することが承認された。前沢教授は、外国語学部英語学科所属。89年津田塾大学大学院文学研究科博士課程英文学専攻単位取得満期退学。06年獨協大学外国語学部助教授、11年外国語学部教授。

役職歴は、17～19年英語学科長、20年から現在まで国際交流センター所長。

1月25日に行われる理事会で承認されると、前沢教授は2024年4月1日付で第12代学長に就任することになる。任期は2028年3月31日まで。



第34回獨協国際ナショナル・フォーラム開催 「カーボンニュートラルと住宅、建築物、都市」

12月8日、9日の両日、第34回獨協国際ナショナル・フォーラムがオンライン形式で開催された。本フォーラムでは、脱炭素時代の住宅、建築物及び都市の分野におけるカーボンニュートラルをめぐる、国内外の専門家がそれぞれの知見を交換することで、関連する政策推進や国際協力のあり方について考える場となった。

コーディネーターは倉橋透経済学部教授(写真左下)が務め、計190件の参加登録があった。



獨協大学環境週間 “Earth Week Dokkyo 2023～Winter～”開催

12月4日から9日まで、“Earth Week Dokkyo 2023～Winter～”が開催された。期間中は、「福島県復興支援物産展」、学生団体THE Meによる「当事者の人生を歩んでみよう LGBTQ人生ゲーム」など学内各所で多くのイベントが行われた。

また、施設事業課、石本建築事務所、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社と毎月実施している「省エネ推進会議」を公開し、米山ゼミ「地球温暖化防止プロジェクト」メンバーの他、Earth Week Dokkyo実行委員会の学生が集まり、キャンパスの省エネについて意見交換をした。



大学からのお知らせ

2023年度最終講義(退職記念)のご案内

定年で退職される先生の最終講義を開催します。他学部の方々もふるってご参加くださいますようお願いいたします。

- ◆小柳春一郎教授「日本近代法史」
テーマ:「近代の土地所有権の歴史—地租改正から所有者不明まで」
1月9日(火) 2時限(10:55~12:35) 西棟W-104教室
- ◆福永文夫教授「日本政治外交史」
テーマ:「時代を考える」
1月19日(金) 3時限(13:35~15:15) 西棟W-207教室

2024年度 学費について

<口座振替の方>

入学年度	2019年度以降	2018年度以前
春学期	口座振替日	4月12日
	手続締切※	3月20日
秋学期	口座振替日	9月12日
	手続締切	8月20日

口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。

■学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

本学では原則、口座振替での学費納入となっています。「Web口座振替受付サービス」へご登録ください。すでに口座振替をご利用の方で、振替口座の変更を希望する場合も、改めて手続きをお願いいたします。

【Web口座振替受付サービスの概要】

- ・Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要) <Web口座振替受付>
- ・口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日
- ・3月20日までにお手続きいただければ2024年度春学期の学費から口座振替となります。
- ・手数料は大学負担となります。



<銀行振込の方>

	春学期	秋学期
振込用紙の発送	4月1日	9月1日
納入期限	4月末日	9月末日

※修学支援新制度対象者の学費納入方法については大学ホームページをご参照ください。

第57回卒業式、第46回学位記授与式

今年度は、学部を分けず一部制にて挙行します。

日 時: 2024年3月20日(水・祝) 10:00~
(入場開始9:30)

場 所: 獨協大学35周年記念館アリーナ

- 式典後の各卒業生への学位記授与は、学科別に教室にて行います。
- 学科別の学位記授与終了後、祝賀会を学生食堂で行います。
- 式典へはご家族及び保証人等2名まで出席が可能です。
- 卒業生は、当日学生証をご持参ください。
- 学内で着物レンタル希望の場合は、獨協大学同窓会(TEL:048-941-6865)までお問い合わせください。

感染症等の影響により式典の内容が変更となる場合があります。詳細は改めてPorTaII及びホームページでご確認ください。

秋学期「授業評価アンケート」

実施期間: 2023年12月19日(火)~2024年1月22日(月)

対 象: 全学生、大学院生

回答方法: PorTaII

2023年度「学年修了時アンケート」

実施期間: 2023年12月19日(火)~2024年1月22日(月)

対 象: 全学生

回答方法: Google Formを用いたWebアンケート

詳細は、PorTaIIにてご案内します。
お問い合わせ先: 自己点検・評価室(6棟1階)
電話 048-946-1824
E-mail jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

2023年度
「子ども大学そうか」
第4回講義開催

10月28日、東棟で「子ども大学そうか」の4回目の講義が行われ、草加市内の小学生、32名が参加した。

講義は英語学科羽山恵准教授が「コロケーション(collocation): 英語の単語と単語のつながりを学ぼう!」をテーマに行った。

はじめに、「美味しい」「リンゴ」や「赤い」「リンゴ」といった単語の種類とその組み合わせのルールを日本語で確認し、その後、各自に割り当てられたPCを操作しながら、正しい組み合わせとして世の中で使われているかどうかを調べた。続いて、英語で同様の調査を行い、未来の「学生」たちは単語の持つ意味と組み合わせの多さを学んでいた。



Autumnコンサート/
定期演奏会を開催

11月29日、12月2日、コミュニティスクエアにてAutumnコンサートを開催した。学友会本部・文化会本部が主催し、各日程で文化会の古典ギター部、マンドリンクラブが演奏を披露した。また、上記期間に天文研究会と書道研究会の企画展示も行われた。日頃の成果発表を行うとともに、音楽団体にとっては以降に予定する定期演奏会の告知を兼ねている。

これを受け12月10日には小講堂にてマンドリンクラブ第100回定期演奏会が行われ、会場は多くの人で埋め尽くされた。なお、2月3日には古典ギター部が小講堂にて定期演奏会を開催予定。



マンドリンクラブ 書道研究会

復興知事業
「子ども未来講座」終了

12月9日、福島県田村市において「子ども未来講座」(主催:獨協大学・田村市教育委員会)の最終回と閉講式が行われた。田村市内の小学5・6年生13人は4チームに分かれ、英語で田村市を紹介するプレゼンテーションを行った。本学留学生、学部学生、保護者など多くの人が聴講する中、全6回の成果を発表できた。閉講式では、英語学科羽山恵准教授から修了証が手渡され、「プレゼンテーションすることの大切さを忘れないように」との言葉が送られた。



大学生対象の
天野杯大会を開催

10月15日に大講堂にて英語弁論、10月29日に体育館アリーナにて競技ダンス、12月9日に小講堂にてドイツ語弁論の各天野杯大会が開催された。天野杯とは、獨協大学創設者天野貞祐先生の名を冠する大会であり、50年以上前から開催されている歴史のある大会。競技ダンスは関東圏の大学を中心に、二つの弁論大会は、全国有数の大会として実力者が集まり、熱戦が見られた。

運営は学友会傘下の団体が行い、英語弁論を英語会、競技ダンスを舞踏研究会、ドイツ語弁論をドイツ語会話研究会が担当した。

結果は以下の通り
英語弁論: 山本利咲 / 関西学院大学
競技ダンス: 上智大学(団体)
ドイツ語弁論: 大久保菜々子 / 慶應義塾大学



天野杯(競技ダンスの様子)

2023年度
父母懇談会(学内会場)開催

10月21日、父母の会主催による父母懇談会が天野貞祐記念館大講堂で開催され、来校とオンライン合わせて473名の父母および保証人が参加した。

父母懇談会は「全体会」「学部学科別懇談会」「懇親会」の3部構成。希望者には学生による施設見学ツアー、職員による個別相談が実施された。全体会では、山路朝彦学長(父母の会名誉会長)による大学の近況報告、就職に関する講演会として岡田圭子キャリアセンター所長の挨拶、採用コンサルタント/採用アナリスト谷出直正氏による講演、内定取得学生による就職活動体験談の発表が行われた。



高校生親善大会
(剣道、弓道)を開催

11月12日に体育館アリーナにて剣道大会、11月19日に学生センター別館弓道場にて弓道大会が開催された。これらの大会は学友会傘下の剣道部、並びに弓道部がそれぞれ主催し、高校生を招いて実施する親善大会で、高校生同士の試合の機会や交流の場を提供するだけでなく、獨協大学のことを高校生により知ってもらうことを趣旨としている。

剣道大会は38回、弓道大会は11回を数える。関東圏を中心に強豪が出場し、剣道大会には51校、弓道大会には21校が参加した。

- 剣道大会優勝校
男子(団体): 川口北高等学校
女子(団体): 日本体育大学桜華高等学校
- 弓道大会優勝校
男子(団体): 春日部高等学校
女子(団体): 足利大学付属高等学校



剣道大会優勝校

2023年度学友会四本部合同交代式開催

12月20日、学生センター雄飛ホールにて、2023年度学友会四本部合同交代式が執り行われた。この式典は、2023年12月より新たに学友会各本部の正副委員長となる学生たちに、学友会会長(学長)が役職を委嘱する節目の行事。当日は、山路朝彦学友会会長をはじめとする大学教職員や学友会新役員の他、来賓として一般社団法人獨協大学同窓会から大西純一会長らが出席した。交代式では、学友会新役員に対し、山路会長から委嘱状と激励の言葉が送られた。第60期学友会委員長の増田七愛さん(交2年)は「委員長として、これまで以上に多くの学生が様々な形で活動できるよう、精一杯努めてまいります」と意気込みを語った。

学友会 新役員一覧

任期: 2023年12月1日から2024年11月30日まで

第60期 学友会		第60期 文化会		第60期 体育会		第50期 愛好会		第60期 監査団	
委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	団長	副団長
(交2年)	(独1年)	(済3年)	(宮1年)	(済3年)	(律3年)	(律2年)	(律1年)	(営2年)	(総2年)

本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報

(価格は税別)

中川 純子(ドイツ語学科非常勤講師)著
『音読で学ぶドイツ語単語集』
郁文堂 2023年6月 2200円



そのまま読み物としても楽しめるドイツ語情報満載の学習書。自然で日常的な155個の例文に、初級の語彙と文法を凝縮しています。QRコードから音声でも学習可能です。

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)著
『シ小説・鏡膠』
滯標 2023年7月 1800円



「詩は小説とめぐり会えるか?」……『シ小説』は「詩小説」にして「私小説」、そして仄かに「死小説」。過激で、面白うて、やがて切なき現代文学の奇妙な果実を堪能する一冊です。

M.ビティヒ(ドイツ語学科准教授)著
『Tsukamoto Koichi-Mein Lebenslauf』
IUDICIUM Verlag 2023年8月 22€



世界的な女性下着メーカー「ワコール」。戦後日本の経済復興の一端を担うべく、女性下着にその使命を託した創業者がその40年を語った『私の履歴書』のドイツ語版です。

前沢 浩子(英語学科教授)共訳
『Savoir&Faire 土』
岩波書店 2023年8月 2700円



自然素材に関する知識・技術の共有を目指すエルメス財団の社会貢献プログラム、スキル・アカデミーの書籍化。カラー図版も多数取り入れ、「土」という身近な素材に、陶芸、建築、歴史など様々な切り口から迫ります。

佐藤 勲治(言語文化学科教授)分担執筆
『歴史との対話—今を問う思索の旅』
彩流社 2023年8月 2300円



歴史研究者から読者へ贈る、史資料を読む思索の回路を伝える試み。資料を通じて歴史に思いをはせる歴史学者たちによる12編のエッセイが、歴史読解の奥深さと意味を垣間見させてくれます。

前沢 浩子(英語学科教授)編注、
(ウィリアム・シェイクスピア著)
『じゃじゃ馬ならし』
大修館書店 2023年9月 3000円



言わずと知れた大作家による喜劇。学問の都パデュアを舞台として、乾いた知性と熱いエネルギーが混じり合い、現代社会に対しても多くの問いを投げかけています。原文と対注で読める一冊です。

加藤 一彦(国際関係法学科非常勤講師)著
『教職教養憲法15話(改訂五版)』
北樹出版 2023年9月 2000円



教職に必要なとされる人権感覚を培うために人権論を中心に論述する、法学部以外の学生も理解できる憲法のエッセンス。いじめ、住民自治などの現代的な内容を加筆修正しています。

加藤 一彦(国際関係法学科非常勤講師)著
『憲法(第四版)』
法律文化社 2023年9月 3500円



憲法学を修得するための体系的教科書。全編にわたって通説をベースに丁寧に解説しつつ、新規判例と法令を加え、憲法略史や最新動向を踏まえて増補した改訂版です。

浅岡 千利世(英語学科教授)分担執筆
『Cultivating professional development through critical friendship and reflective practice: Cases from Japan』
Candlyn & Mynard 2023年10月 US\$29.99



教育者の専門性向上について質的研究アプローチを用いて論じた一冊。教育者同士が批判的仲間として対等な関係性を結ぶことの重要性について、日本の事例を中心に論じています。

小島 優生(言語文化学科教授)分担執筆
『スクール・コンプライアンス研究の現在』
教育開発研究所 2023年10月 2800円



教育行政、学校経営、学校教育……多様性が叫ばれる現在、教育現場は様々な問題・観点から、コンプライアンスが求められます。そんな教育の現在とこれからを探る研究書です。

藤山 英樹(国際環境経済学科教授)著
『ゲーム理論からの社会ネットワーク分析』
オーム社 2023年10月 3200円



構造に注目してトップダウンで理解する社会ネットワーク分析と、人々に注目してボトムアップで社会を理解するゲーム理論を一度に学べます。中心性とナッシュ均衡の奇跡的な出会いが見所です。

昼間 良次(学生会総務部長室事務課職員)分担執筆
『方言漢字事典』
研究社 2023年10月 2700円



全国に存在する「方言漢字」120字を収録。宮城県の「鱈(とど)」、東京都の「砧(きぬた)」など、特定の土地や姓、風物に見られる地域性を帯びた漢字を取り上げ、現地調査と豊富な資料に基づき解説しています。

古田 善文(名誉教授)共著
『図説 オーストリアの歴史(増補改訂版)』
河出書房新社 2023年11月 2200円



時に戦乱の舞台として、時に文化の中心として歴史に現れた、多層的で光と影が混じり合うオーストリアの歴史を、多数の図版と共に解説する一冊。ウクライナ問題を含む近年の動きを追加した増補改訂版です。

上村 敏郎(ドイツ語学科教授)、伊豆田 俊輔(ドイツ語学科准教授)共訳、(ロバート・ダーントン 著)
『検閲官のお仕事』
みすず書房 2023年12月 5000円



「検閲とは何か?」その答えは、国家や時代によって異なります。書物を生み出す力の一つである検閲の正体を3つの政治体制下での生産から流通をたどることで解き明かす、野心的な一冊です。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

結果報告 Part2

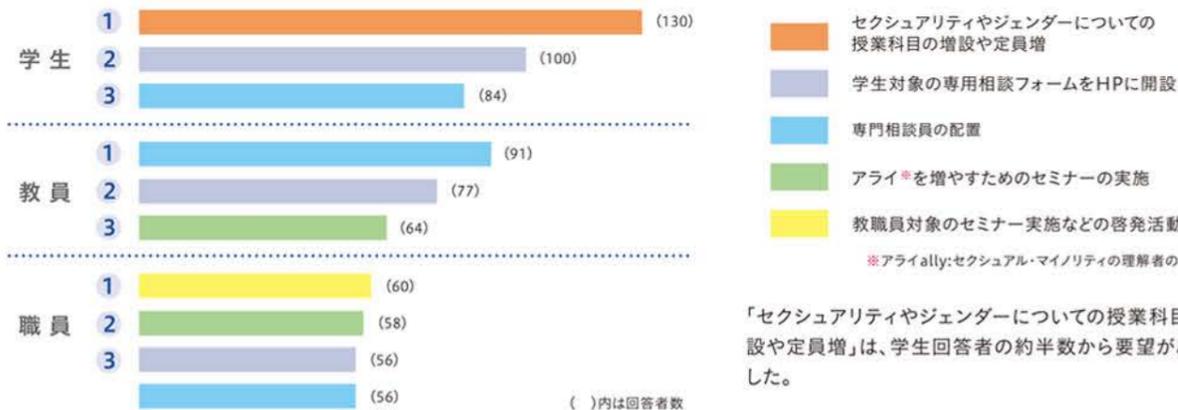
学生対象「獨協大学におけるジェンダーとセクシュアリティの現状に関するアンケート調査」 教職員対象「セクシュアル・マイノリティ学生への対応状況把握のためのアンケート調査」

獨協大学ダイバーシティ推進連絡会*が昨年7月、学生および教職員を対象に行ったアンケート結果について、前号に続き第2弾の報告をいたします。

*ダイバーシティ推進連絡会
副学長を部会長、学生部長を副部会長とし、教務課、学生課、保健センター、入試課、キャリアセンターの職員で構成。入学試験受験から卒業、キャリア支援まで、連携して学生サポートすることを目的とする。

回答者数: 学生269人(全学生の3.2%)、教員161人(全教員の26.0%)、職員118人(全職員の41.7%)

「獨協大学が取り組むべき活動は?」で回答が多かったものベスト3(複数回答可)



「セクシュアリティやジェンダーについての授業科目の増設や定員増」は、学生回答者の約半数から要望がありました。

■ 学生からの声(日頃感じていること・困っていることなど)の一部

- まだまだ男女二元論に囚われていて、性行為に関しても「必ず皆やること」と思っている人が多いと思います。メディアの表象はもっと多様であるべきですし、セクシュアリティは流動的なものだと、もっと広まってほしいです。
- 私は恋愛感情を持たないので、結婚・恋愛に関する質問をされると正直に答えられず困ります。
- 私自身がアセクシャルです。LGBTへの認識は広がってきていると思いますが、アセクシャルやアロマンティック、ノンバイナリー、デミセクシャル*などの認識はほほえないような気がするの、これらについてのセミナーがあるとよいと思います。
- 男だけど、男らしく生きるのがつらい。男は経済的に裕福でなければならないというプレッシャーを感じる(年収が低い人の既婚率は低いから)。
- 自分の性的指向について他の学生に話したことはないが、もし話したら軽く一蹴され馬鹿にされそうで怖い。
- 近年、ジェンダーに対する認識は広がっているため、認識のない人はいないと思う。それに対して深く配慮する必要はなく、今まで通りのほうが違和感なく過ごせる。しかし、困っている人へのケアは安心した学生生活を過ごす上で必要であるため、学生が気軽に相談できる環境を望む。

★LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)のほか、以下に該当する人もいます。異性愛や恋愛するのが当たり前、と決めつけないようにしましょう。

【性的指向についての用語】
アセクシャル: 他者に性的に惹かれない人
アロマンティック: 誰にも恋愛感情をもたない人
デミセクシャル: 精神的なつながりを感じる相手に対してだけの欲求を抱く人

【性自認についての用語】
ノンバイナリー: 性自認が男性・女性のカテゴリーに当てはまらないと感じている人

「ジェンダーとセクシュアリティについてのハンドブック Ver.1」p.5もご参照ください。
学生課(学生センター1階)前で配布しています。

学生のみなさんの声を受け、2024年度から獨協大学のここが変わります!

- 2024年度秋学期、ダイバーシティをテーマとする全学総合講座を開講
ジェンダーやセクシュアリティに限らず、民族、言語、宗教、障がい、年齢、経済的困窮などによりマイノリティとされた人たちの人権を守ることを、多様性(ダイバーシティ)尊重の観点から、学生や当事者のみなさんと共に考えていきます。
コーディネーターは交流文化学科・高橋雄一郎教授です。
- 教室棟とコミュニティスクエアの女子トイレにOiTr(オイテル)を18台設置
OiTrとは、トイレ個室に生理用ナプキンを常備し、無料で提供するサービスです。今回のアンケートでもリクエストがありました。実は、2021年に言語文化学科学生3名が学生課に提出した提案書をもとに設置を検討していましたが、半導体不足の影響を受け工事が遅れていました。3月末までには設置見込です。
教職員への啓発活動に加え、学生対象のセミナーやトークイベント等を開催します。またX(旧ツイッター)を開設し、学内だけでなく他大学や各種団体のイベント情報、参考図書等の紹介を予定しています。
- ダイバーシティ推進のための企画や情報発信をスタート
*HPでの専用相談フォーム開設、専門相談員の配置については、引き続き検討いたします。

Cover Story

さん

経済学部国際環境経済学科4年

『Do! 獨協大学ニュース』1月号の表紙に登場してくれたのは、高安健一ゼミナールに所属し、「草加本染LOVERS」として埼玉県草加市の伝統産業である浴衣染めの認知度向上に向け製品開発や販売、告知を実施する等、産学官連携事業にも積極的に取り組んできたさんです。2021年度には雄飛祭実行委員会の企画局次長としてコロナ禍での雄飛祭開催に向けて運営の基礎を築きました。前例がない中でも班員の意見を吸い上げながら前向きに活動し、成功に導いた経緯を聞くと、「大変でしたが、0から企画を形にする経験を通じて、社会人としてやりたいことが見つかりました」と笑顔で語ってくれました。



Photo by Kaoru Fujimoto

Do!

獨協大学ニュース

2024 WINTER
1月号
VOL.483

©獨協大学2024 / 獨協大学 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 / 年4回発行

ぶらりらいぶらり

Vol. 109

図書館を活用して語学力をアップさせよう!



X (旧 Twitter)



「図書館では、どんな語学学習ができるか知りたい!」という学生は必見。今回は、語学力アップにオススメの資料や施設を紹介します。

■多読本(リーダー)

- ・辞書を使わずに本をたくさん読むことで、語学力を向上させる学習法=多読の資料です。
- ・英語、ドイツ語、フランス語があり、初級～上級まで幅広いレベルを取り揃えています。
- ・初級から読み始めて、段階的にレベルアップしていくことで、語彙力や読解力が向上します。

英語は電子版も利用できます! 詳細はこちら



■語学検定コーナー

- ・英検、TOEIC、TOEFL、独検、仏検など、各言語の検定試験問題集、付録CD、テキストがあります。
- ・過去問～最新版まで全て貸出可能なので、試験対策もばっちり。

■NHKテキストコーナー ※最新号貸出不可

- ・英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語など、各言語のNHK語学テキストと付録CDがあります。
- ・無理なく進められる内容になっているので、毎日コツコツと勉強したい人にオススメ。



■発話トレーニングブース

- ・設置PCのeラーニングシステムや音声資料を使って、発音・発話練習ができる施設。教科書の音読などもOKです。
- ・1回につき100分間まで利用できるので、じっくり発音・発話練習に取り組みたい方にぴったり。

■AVコーナー

- ・視聴覚コーナーでは、不朽の名作から話題作まで、バラエティに富んだ各国の映像作品を取り揃えています。
- ・視聴覚資料は、AVコーナーで利用可能です。海外の映像作品を視聴することで、楽しみながら語学力をアップできます。

読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



編集	総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp			
学生記者	秋元 壮馬(営3年)	跡部 雄太郎(総4年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独4年)	大久保 賢斗(営2年)
[五十音順]	岡田 陽依(英3年)	尾木 草輔(律4年)	片柳 月奈(言2年)	金子 愛美(英2年)
	金田 夏実(律2年)	狩野 了輔(英3年)	黒木 健登(律2年)	斉藤 駿斗(律3年)
	齋藤 史空(英3年)	佐藤 有恭(律4年)	佐藤 雪絵(仏2年)	柴田 爽世(英2年)
	島田 瑠里香(済2年)	庄司 光希(総3年)	蘇 キンギョク(英2年)	高橋 来未(関1年)
	田中 風羽(英2年)	土田 優衣(営2年)	土屋 日花莉(律2年)	原 友里恵(英3年)
	藤崎 ゆな(営3年)	古川 大翔(英3年)	古谷 一真(交3年)	星野 空弥音(言1年)
	柳澤 真理子(営2年)	吉見 麻菜(済4年)	渡邊 帆風(営2年)	

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済
 営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>